

科目名 終末期看護実習 時間割表記名 終末期看護実習	配当時期 3年次 単位数 2単位 時間数 90時間（11日間）	講義担当者 川野友美
事前学習内容 実習要項参照		
科目全体のねらい・授業目標 【実習目的】 終末期にある患者とその家族の特徴を理解し、最期までその人らしく生きることを支える看護について理解する。 【実習目標】 1. 終末期にある患者の身体的・精神的・社会的・霊的特徴を理解できる。 2. 終末期にある患者の家族が抱える問題と必要な看護介入について理解することができる。 3. 終末期にある患者のニーズを捉え、状況に応じた看護を実践できる。 4. 終末期にある患者の全人的苦痛に対するチームアプローチの実際と看護師の役割について理解することができる。 5. その人らしく生きることを尊重する看護について理解することができる。 6. 保健・医療・福祉チームの一員としての自覚をもち、専門職業人として望ましい態度がとれる。		
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。 DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたって物事を考え、自己研鑽することができる。		
授業の流れ 回復・治癒が困難である患者の全人的苦痛を理解し、患者の身体的苦痛を緩和することは勿論、その人の人生に目を向け、その人が最期の時を迎えるまでにどのような変化が起こるのかを予測し、患者と家族の意思を尊重しながらその人らしく生きることを支える看護について、病棟（血液内科病棟、消化器内科病棟のいずれか）での受け持ち患者の看護実践と緩和ケア病棟での見学実習を通して学ぶ。 それまで学習してきた看護の対象を生活者として捉えること、健康障害と治療、あらゆる発達段階にある人々への看護、多職種連携における看護師の役割等の知識を統合させ、看護を実践する過程であらためて自己の死生観や看護観について言語化し、深める。（具体的な実習内容・方法は実習要項を参照）		
評価 ルーブリックに沿って評価する。		
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 成人看護学 血液・造血器 医学書院		

②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 消化器 医学書院

③系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院

④系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院

参考文献